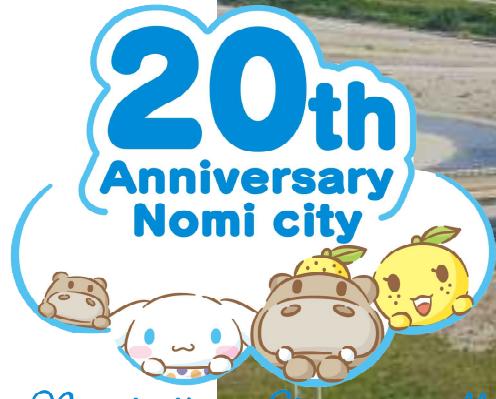


能美市における カーボンニュートラルの取り組み



SDGs 未来都市
能の美み市
NOMI, ISHIKAWA, JAPAN

2030年 温室効果ガス削減目標

【能美市地球温暖化対策実行計画:2023年3月】

[千t-CO₂]

600

500

400

300

200

100

0

-100

551

451

462

182

-50%

280

432

426

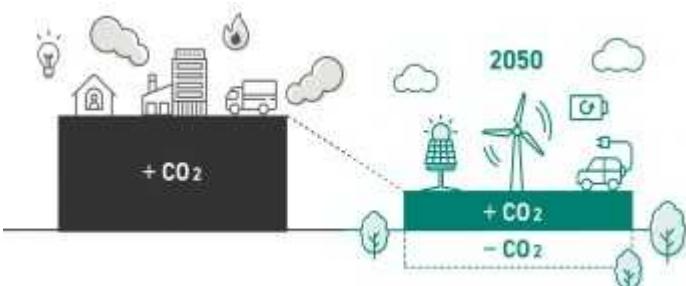
-5
-6
-6

2013
(H25)

2019
(R1)

2030
(R12)

2050
(R32)



(単位: 千t-CO₂)

削減目標 182千t-CO₂ の内訳

部門	能美市の 施策による削減	電力排出係数改善 による削減
	106	76
産業	35	42
家庭	24	20
運輸	31	0
その他	16	14

大企業・中小大手企業の取組状況

太陽光発電設備の導入



東レ(株)石川工場

… 年間2,800t-CO₂の削減効果
→ 北陸最大級のメガソーラー設備



東振精機(株)

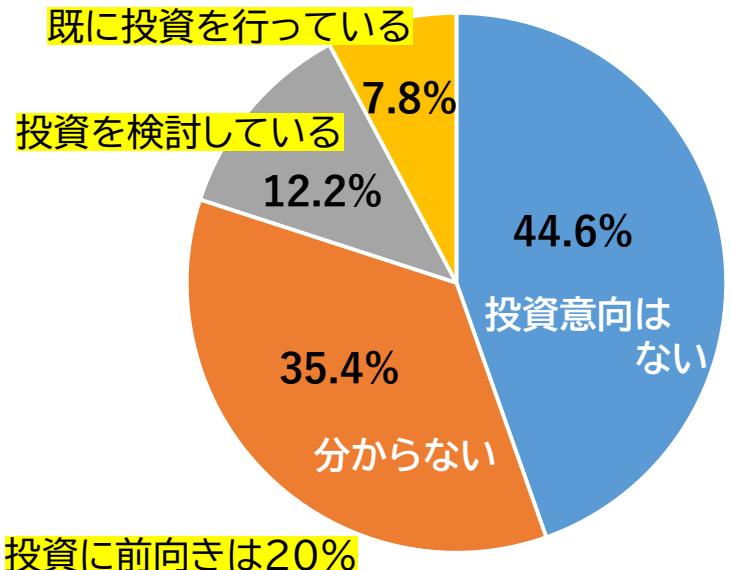
… 年間312t-CO₂の削減効果

中小企業・小規模事業者における取組への課題

設備投資・取組が進んでいない

中小企業のグリーン分野への投資意向

【2022年中小企業庁資料】



- 再生可能エネルギー設備の導入
- 照明LED化
- 建築物の省エネ性能
- 電気自動車 etc



カーボンニュートラルの取組に対する意識調査

2025年秋にアンケート実施
市内の中小企業
1,300社

カーボンニュートラル推進に向けた
支援施策検討の基礎

市民・地域における取組状況

家庭におけるエコ活動

【補助制度利用世帯数】

- 自然エネルギー設備
 - 太陽光発電設備 【774世帯】
 - 薪・ペレットストーブ 【42世帯】
- 省エネ住宅 【70世帯】
- 電気自動車 【45台】
- 家庭用生ごみ処理器 【55世帯】

太陽光発電設備【774世帯】
全世帯の約4%【目標は25%】



地域におけるエコ活動



根上海岸清掃活動

… 企業・地域住民・行政が協働で実施

地球環境問題を自分事化するための取組

のみ環境フェスタ2025

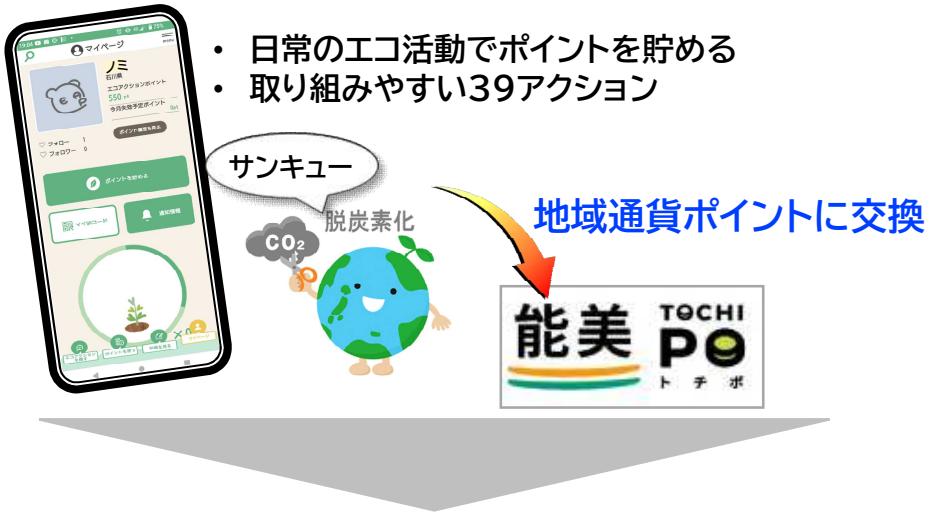


市民団体・企業・行政が協働開催

エコ活動アプリ



- 日常のエコ活動でポイントを貯める
- 取り組みやすい39アクション



エコ活動を日常化
+
市内経済循環の向上

能美市役所における取組①

照明のLED化

市内街灯のLED化本数	LED化率	CO2排出削減量
(整備済)6,947本／(全体)7,669本	90.6%	333t-CO2/年

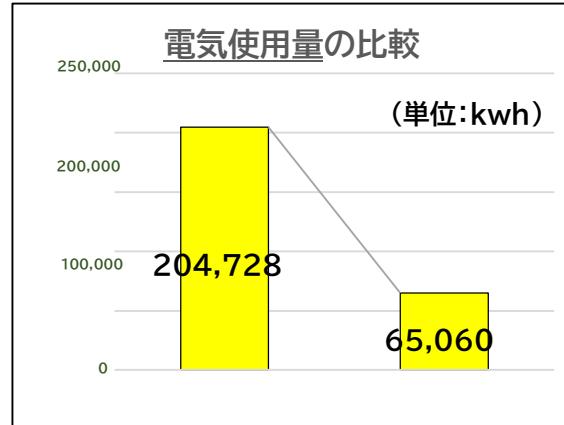


【公共施設】 目標:2030年までに全公共施設

実施例)能美市美化センターの場合 《照明319基LED化》

※照明部分の年間実績の比較

区分	施工前	LED化後	削減効果
電気使用量 :【kwh】	204,728	65,060	▲139,668 (▲68.2%)
電気料金 :【千円】	3,766	1,321	▲2,445 (▲64.9%)
CO2排出量 :【t-CO ₂ 】	100	32	▲68 (▲68.0%)



能美市役所における取組②

学校給食センター



太陽光発電(PPA)



市内企業が製造した
木質ペレットでボイラー
を加熱し施設暖房



エネルギーの
地産地消

市役所本庁舎



【ESCO事業】
空調設備改修・庁内照明のLED化

省エネルギー化

能美市役所における取組③

地域共生交流館



- ▶ 太陽光発電設備
 - ▶ 木質ペレットボイラー
- エネルギーの地産地消を拡大

市役所本庁舎-防災機能強化施設



- ▶ 太陽光発電設備
 - ▶ 断熱・遮熱
 - ▶ 高規格の省エネ設備【空調・照明】
- Nearly ZEB仕様

能美市役所における取組④

ソフト対策

- 全部局長によるカーボンニュートラル推進会議
 - 全庁的な施策の検討・調整
- 環境省職員を講師とした全職員研修
 - ～ 国の方針を理解、先進事例を学ぶ
支援制度を把握し財源調達



すべての課において、複眼思考で施策を検討
「緩和策」「適応策」の洗い出し
約100提案

部局を越えてオール能美市役所でカーボンニュートラルを推進
+ 地域課題の解決 + 各分野における施策の推進

レジリエンスの強化と新たな再生可能エネルギーの導入検討

- 太陽光発電と蓄電池の組合せ
 - 災害時等における電力の確保

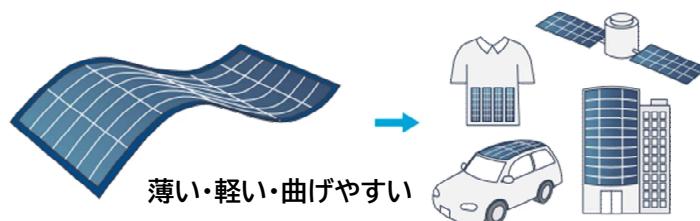


蓄電池(NAS電池)



※「NAS」は日本ガイシ株式会社の登録商標です。

- ペロブスカイト太陽電池の導入
 - 製造コストの低減による市場化に期待



技術の進歩をまちづくりに活かす

カーボンニュートラルで安全安心のまちづくり

国・県による力強い後押しを！

カーボンニュートラル 最大の課題は 【財源】

【財源確保が不可欠 かつ 急務】

- 市民・企業の行動変容のため
- 行政の地球温暖化対策【事務事業編】の進捗加速化のため
- 日本全体で2050年度カーボンニュートラル達成のため
- 持続可能な地球環境と地域社会のため

国・県による【情報提供】と【財源支援】を！